

岡山市事業系一般廃棄物 組成分析調査報告書

〔概要版〕

岡山市イメージキャラクター

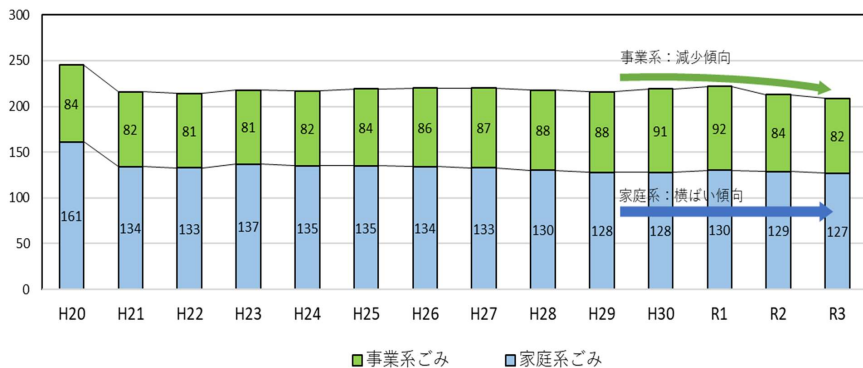
〔ミココ〕〔ハコロ〕



1 調査の目的

岡山市の事業系ごみは、コロナ禍の影響を受け近年減少傾向がみられましたが、経済活動の活性化に伴い増加傾向が予想されます。本調査は、事業系ごみの組成分析調査を通じて、本市の事業系ごみの種類別の排出状況や特徴を把握して、事業系ごみの減量化施策に反映することを目的としています。

(千t/年)



2 調査方法

調査は、東部クリーンセンターで試料を採取して、採取した試料を表-1 に示す分類ごとに仕分けをして、重量と体積を計算しました。



試料採取状況



試料分類状況

試料の分類項目を表-1 に示します。試料は、36 種類に分別して、重量と体積を計量しています。

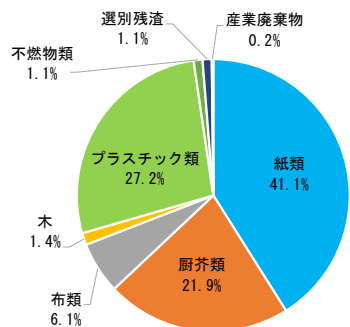
表-1 分類項目

No	大分類	中分類	小分類	具体例
1	紙類	飲料用紙パック(アルミ不使用)	飲料用紙パック(アルミ不使用)	-
2		ダンボール	ダンボール	-
3		新聞紙・チラシ	新聞紙・チラシ	-
4		書籍・雑誌類	書籍・雑誌類	-
5		雑紙	紙箱類、包装紙	菓子箱、石けん箱、紙袋
6		OA用紙	OA用紙	OA用紙、シュレッダーくず
7		減量化できない紙	紙おむつ以外	飲料パック(アルミ使用)・汚れた紙・紙コップ・紙皿・感熱紙・ティッシュペーパー・アルミはく
8		紙おむつ	紙おむつ	-
9	厨芥類	食品類	手付かずの食品	手付かずの食品で原形があるもの
			食べ残し	調理後の食べ残し
			調理くず(可食部分)	使い残した食材など
			調理くず(不可食部分)	魚の骨、卵の殻など
10	食品以外	食品以外の厨芥類	コーヒー、ティーバッグ、お茶がら	
11	布類	衣類	衣類	Tシャツ、和服、下着、作業服
12		衣類以外	布類	シーツ、糸糸、小物
13	木	剪定枝、草	剪定枝、草	-
14	木	その他	木製品	木箱、割り箸、鉛筆
15	プラスチック類	ペットボトル	減量化可能なペットボトル	飲料用、調味料
			減量化不可能なペットボトル	リサイクルマークのないもの、たばこ、油等が混入したもの
16		レジ袋	レジ袋	-
17		発泡トレイ	減量化可能なトレイ	食品トレイなど
			減量化不可能なトレイ	汚れのひどいもの
18		発泡スチロール	発泡スチロール	-
19		その他プラスチック製容器包装	その他プラスチック製容器包装	シャンプー容器、化粧品容器等
20		容器包装以外のプラスチック類	容器包装以外のプラスチック類	-
			プラスチック製品	(製品)プラスチック製品
21		ゴム・皮革類	ゴム・皮革類	合成樹脂製品、皮革類、長靴等
22	その他	上記以外で分別不能なもの	-	
23	金属類	スチール缶	飲料缶、菓子缶、缶詰缶	
24		アルミ缶	飲料缶	
25		スプレー缶	-	
26		その他金属類	-	
27	不燃物類	ガラス類	リターナブルびん	ビールびん、一升瓶、牛乳びん、コーラびん
28			ワンウェイびん	調味料のびん、インスタントコーヒーのびん、ドリンク剤のびん、化粧品のびん
29			その他ガラス類	耐熱ガラス、ガラスコップ
30	その他	陶磁器類	植木鉢、茶碗	
31		小型家電製品	コード類含む	
32		乾電池	ボタン電池含む	
33		リチウムイオン電池	充電式電池、バッテリーなど	
34	その他不燃物	上記以外のもの	水銀入り体温計、電球、蛍光灯など	
35	選別残渣	選別残渣	ほこり、髪の毛、爪、砂など	
36	産業廃棄物	産業廃棄物	産業廃棄物	

* 減量化：市焼却施設への排出抑制を減量化効果と定義した。

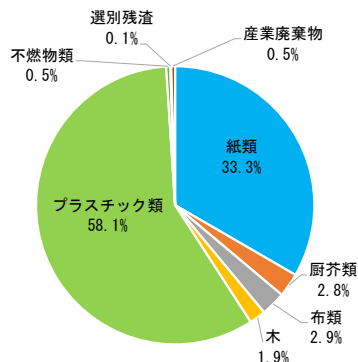
1 重量割合

重量割合が大きい品目は、紙類41.1%、プラスチック類27.2%、厨芥類21.9%であり、この3品目で全体の90.2%を占めています。



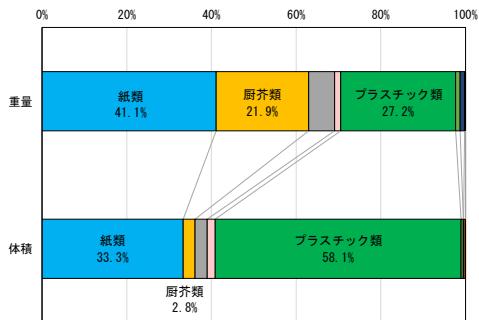
2 体積割合

体積割合が大きい品目は、プラスチック類58.1%、紙類33.3%であり、この2品目で全体の91.4%を占めています。



3 重量と体積の比較

厨芥類は重量比21.9%から体積比2.8%と大きく占める割合が減少し、プラスチック類は27.2%から体積比58.1%と大きく増加しています。

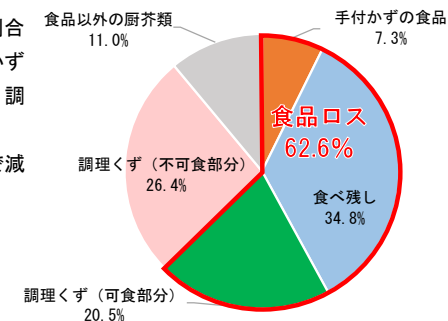


■紙類 ■厨芥類 ■布類 ■木 ■プラスチック類 ■不燃物類 ■選別残渣 ■産業廃棄物

1 厨芥類に含まれる食品ロスの割合

厨芥類に含まれる食品ロスの割合は62.6%です。その内訳は手付かずの食品7.3%、食べ残し34.8%、調理くず(可食部分)20.5%です。

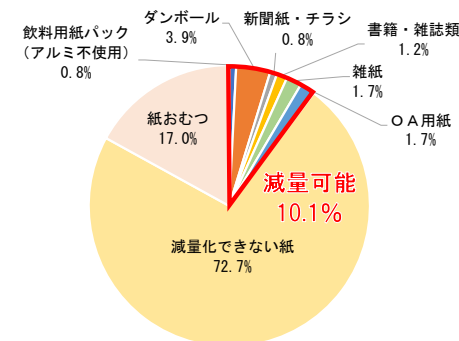
事業者や消費者の少しの工夫で減量化が可能となります。



2 紙類の内訳

紙類の約10.1%は減量可能な紙です。72.7%の減量できない紙の多くは、汚れ等の付着によるものです。

排出時に分別を徹底することによって、減量が可能となる可能性があります。



3 減量化可能量

紙類と厨芥類の1/2~2/3程度を減少させた場合、排出量全体の12~16%が減量可能と想定されます。

対象	項目	紙類	厨芥類	計
減量 (%)		2~3%	10~13%	12~16%

